

第24回建設業経理士検定試験 1級原価計算

〔第1問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点を含む）で記入すること。

問1

作業機能別分類とは、原価が企業経営を遂行した上で、どのような機能のために発生したかによる分類である。実践的には、計算目的別分類および発生形態別分類に基づいて区分された原価を、第二次的に、さらに細分類するために利用される。例えば、材料費は、主要材料費、修繕材料費、試験研究材料費等に、労務費は、監督者給料、直接作業工賃金、事務員給料等に、経費は、電力料を動力用電力料、照明用電力料等に分類する。また、販売費及び一般管理費を、広告宣伝費、出荷運送費、倉庫費などの諸機能別に費目設定するときにも利用される。

問2

組別総合原価計算とは、異種の製品を同一工場内で連続して見込量産する工企業において適用される原価計算の方法である。組別総合原価計算では、まず、1原価計算期間に発生する製造費用を、各組製品に直接的に跡づけることのできる組直接費と、各組製品に共通して発生する組間接費に区分する。次に、組直接費は各組製品に直接賦課し、組間接費は適切な配賦基準によって各組製品に配賦する。このようにして各組製品の総合原価を求めることを付加計算という。最後に、各組において総合原価を各組製品の生産数量で割って単位原価を計算する。

〔第2問〕

記号（ア～シ）

1	2	3	4	5
オ	ク	カ	キ	ア

〔第3問〕

問1

大型クレーンの取得価額 ￥ 24,000,000

問2

A工事現場への当月配賦額 ￥ 387,900

問3

当月の損料差異 ￥ 5,300 記号（XまたはY） X

第24回建設業経理士検定試験 1級原価計算

〔第4問〕

問1

第1年度	¥	2,850,000
第2年度	¥	2,850,000
第3年度	¥	2,640,000
第4年度	¥	3,550,000

問2

3.47 年

問3

¥ 253,250 記号（AまたはB） A

〔第5問〕

問1

完成工事原価報告書	
自 平成×2年4月1日	
至 平成×2年4月30日	
福島建設工業株式会社	
(単位：円)	
I. 材料費	1,050,200
II. 労務費	397,352
III. 外注費	480,300
IV. 経 費	393,850
(うち人件費	202,070)
完成工事原価	2,321,702

問2

¥ 1,156,378

問3

① 材料副費配賦差異	¥	4,450	記号（XまたはY）	Y
② 重機械部門費予算差異	¥	8,150	記号（ 同 上 ）	X
③ 重機械部門費操業度差異	¥	4,000	記号（ 同 上 ）	Y